

## 令和6年度沖縄県教育関係職員表彰 被表彰者功績一覧

### 優秀教職員部門（小学校）

所属 職名 氏名 実践分野	主な功績等
豊見城市立伊良波小学校  教諭  しまぶくろ 島袋 あゆみ  1－ケ（他の模範）	指導主事補(外国語)として、管内の外国語担当（FT）の育成、教育機関から講師依頼を受け授業実践を紹介など、外国語教育の充実に貢献している。常に学び続ける教師として、小学校英語活動の課題解決に尽力している。 現在は児童の英語力・ICT活用能力の向上に取り組むとともに後輩育成に尽力するなど、外国語教育の充実を通して組織力の向上に繋げている。
那覇市立石嶺小学校  教諭  やすだ ひろや 安田 浩哉  1－ア（学習指導）	社会科教育における専門的な知識・指導方法を常に追求し、授業力向上にも大きな功績を残している。 令和5年度は生徒指導上難しさのある学年主任を任せられる中、一部教科担任制を取り入れる等、学年全体で多面的に児童理解を深め、学年を統一した指導を進め、素晴らしい学年経営を実践した。
浦添市立仲西小学校  教諭  ねま なるみ 根間 成美  1－ア（学習指導）	授業改善アドバイザーとして、全学年に渡って学級活動年間35時間分の板書型実践イメージ資料を作成し、特別活動の専門的知識と最新の指導方法の普及に貢献している。 さらに、児童生徒の健康管理・健康づくり推進委員として、学級活動の実践の中で保健に関する授業も構築し、その様子は、日本学校保健会のサイトから公開され、全国の教職員へモデル授業として提案されている。
宮古島市立北小学校  教諭  うえち おうへい 上地 洋平  1－ア（学習指導）	これまで国語科の授業改善に携わり、教育事務所主催の研修会での実践事例発表や文部科学省学力調査官招聘授業等を行い、宮古地区の授業力向上に貢献している。また、離島長期研修員としても国語科の理論研究や実践研究を深め、研修で得た専門的な知識技能を日々の授業改善に活かしたり、職員に還元したりしながら確かな学力の向上に努めている。
浦添市立神森小学校  教諭  しよきた みねこ 諸喜田 峰子  1－ア（学習指導）	小学校国語科の諸研究に携わり「児童の資質・能力」を育成する授業改善及び授業力向上に大きく貢献している。また、日本国語教育学会沖縄支部に所属し、数々の実践研究論文を公表した。令和5年度には第47回西日本集会沖縄大会において、「自立した読み手を育てる文学の授業」をテーマに研究発表を行った。その他教育研究図書にも実践発表が数々掲載されている。
那覇市立安謝小学校  教諭  たかの まこと 高野 亮  1－ア（学習指導）	学習指導において、特に「特別活動」に係る研究を進めており、令和6年度は那覇市教育事務所指導主事補として県内小学校における校内研究、研究授業における指導助言を精力的に行ない、教職員の授業力向上に大きな功績を果たしている。また、現任校においては教務主任として職員をまとめ、若手職員への指導・助言を積極的に行っている。

## 優秀教職員部門（小学校）

所属 職名 氏名 実践分野	主な功績等
浦添市立前田小学校 教諭 たましろ ひとみ 玉城 仁美 1－ア（学習指導）	令和4年度沖縄県立総合教育センター後期長期研修員として、授業デザインシートを活用した道徳的実践意欲を育む授業づくりを行い、令和5年度沖縄県立総合教育センター調査研究協力員として、SDGsの視点を関連づけたパッケージ型ユニット道徳の研究、実践を行い、研究成果は本県の道徳教育の指導力向上に寄与している。
名護市立稲田小学校 教諭 やまのは りょうこ 山入端 良子 1－ア（学習指導）	学習指導、特に国語科指導において教材研究を深め教科の本質を十分に理解した上で充実した学習指導を行っている。その指導力は国頭地区管内だけではなく、本県の授業力向上に大きく寄与するものである。 また、今年度は国頭地区指導主事補として管内の初任者指導に深く関わり後輩教員育成にも力を注いでいる。
浦添市立前田小学校 教諭 いけだ たかし 池田 崇 1－ア（学習指導）	琉球大学教育学部附属小学校での道徳教育の研究、実践をはじめ、日本道徳基礎教育学会沖縄支部の事務局として、平成31年から月1回の学習会の開催や「道徳教育」（明治図書令和2年4月号）での道徳開きに関する実践の執筆など数多くの実践研究に取り組んでいる。また、那覇地区教育課程研究員の特別活動で研究、実践を行い、那覇地区の教職員の指導力向上に寄与している。
那覇市立大道小学校 事務主幹 しまぶくろ もとこ 島袋 元子 1－ケ（他の模範）	歴任校で勤務した経験を基に、事務主幹として必要な知識を生かし、リーダーシップを持って「共同学校事務室」を運営。連携校間の情報共有や課題解決、後輩の育成や指導等に積極的に関わり円滑な学校事務の遂行に尽力している。 島尻地区学校事務連携室推進委員長や沖縄県公立小中学校事務職員協会事務局等の役職を務め、事務職員同士の資質・能力の向上や事務の効率化に貢献。

## 優秀教職員部門（中学校）

所属 職名 氏名 実践分野	主な功績等
八重瀬町立具志頭中学校 教諭 ながい りょうた 永井 亮太 1－ア（学習指導）	ICTを活用した国語の学習活動に精力的に取り組んでおり、島尻地区中学校国語授業改善研究会においての公開授業は、本地区の国語教育のみならず他教科・領域におけるICTを活用した「協働的な学び」「個別最適な学び」の推進に大きく貢献している。また、教務主任としてGIGAスクールを積極的に推進し、校務処理及び会議の時短・効率化、情報の共有化が図り、教員の働き方改革が進めている。

優秀教職員部門（中学校）

所属 職名 氏名 実践分野	主な功績等
那覇市立石嶺中学校  教諭  しもさと 下里 ゆかり  1－ア（学習指導）	「和服の伝統や文化を継承する態度を育てる学習指導の工夫」をテーマに県立総合教育センター前期長期研修員（家庭科）として研究に取り組み、実践力を積極的に身につけ、和服の授業においては、地域人材を活用し呉服店と連携した浴衣の着装学習を令和元年から行なっている。現在は、令和6年度那覇市教科指導員（家庭科）として活躍するなど積極的に教科の専門性を発揮・貢献している。
八重瀬町立具志頭中学校  教諭  やまだ りょうこ 山田 涼子  1－ア（学習指導）	生徒の多様な考えを引き出し、相互交流を通して説明し伝え合いながら互いの考えを広げ、深める小中連携の算数・数学の学習活動に積極的に取り組んでおり、指導主事補としてもこれらの視点から指導助言を行っている。また、県立向陽高校と連携し、長期休業中の補習に高校生を活用し、助言を行う場を設けるなど、島尻地区の「中学校期における学力課題の改善」に大きく貢献している。
浦添市立港川中学校  教諭  みやさと もりふみ 宮里 盛史  1－ア（学習指導）	「中学校教育課程研究委員（美術）」、「指導主事補（美術）」を歴任しており、学校内外で功績が認められている。また、令和3年から3年間教務主任として辣腕を振るい迅速に業務遂行を行った。さらに、美術部顧問としても指導に情熱を注ぎ、卒業生には「黒板アート」で中学校3年間の門出を祝い、メディアでも取り上げられ賞賛された。
豊見城市立長嶺中学校  教諭  なかもと ようこ 仲本 陽子  1－ア（学習指導）	島尻地区の国語科指導主事補として校内外での教科における指導・助言、授業改善で力を発揮しており、学力向上の推進を積極的に行い、地区内の授業力向上にも大きな功績を残した。また、総合学習のコーディネーターとして「主体的・対話的で深い学び」の実現を図ることによって生徒、教職員も主体性、協働的な集団組織の充実及び意識改革が図られた。
宮古島市立平良中学校  教諭  かきはな ゆうせい 垣花 雄盛  1－ア（学習指導）	教育熱心で学習指導や生徒指導（部活動）においても常に真摯に取り組み、師弟同行で生徒に寄り添いながら生徒理解・支援に当たっている。 本県の教育施策「P・PⅡ重点事項」や宮古島市が推進するICTの効果的活用による学校改善・授業改善等を踏まえ、宮古島市立研究所において半年の長期研修を行い、自らの職責を遂行するための研究と修養に努めた。
那覇市立神原中学校  養護教諭  いしだ しょうこ 石田 祥子  1－ウ（学校体育等）	これまでに那覇地区養護教諭研究会副会長、沖縄県養護教諭研究会副会長、那覇地区学校保健会理事を歴任し、那覇地区のみならず沖縄県における学校保健に関する分野で大きな功績を残しており、養護教諭全体のリーダー的な存在である。 心理的に不安を抱える生徒への丁寧な対応と真摯に向きあう姿勢については、生徒、保護者、職員から絶大な信頼がある。

優秀教職員部門（県立学校）

所属 職名 氏名 実践分野	主な功績等
沖縄県立知念高等学校  教諭  ねがわ たいと 根川 泰斗  1－エ（部活動指導）	長年にわたり放送部の指導に携わり、多くのコンテストで全国派遣を勝ち取るなど、輝かしい実績を残した。特にテレビ・ラジオの番組制作においては経験の浅い1年生を丁寧かつ粘り強く指導し4大会連続で最優秀・優秀賞を獲得し県代表として九州高校放送コンテスト及びNHK杯全国高等学校放送コンテストへの派遣資格を得るなど、その指導は賞賛に値するものである。
沖縄県立泊高等学校  教諭  しまぶくろ かよこ 島袋 香代子  1－ア（学習指導）	国語科教諭として卓越した指導力と人間力を発揮し、赴任先の学校で指導する生徒達を県内外の短歌甲子園や弁論大会等において優秀な成績に導いてきた。また、県内各種コンクールの審査委員を長く努める等、本県を代表する国語科指導のスペシャリストである。加えて、本人自らも沖縄文学賞短歌部門において県知事賞を受賞するなど率先垂範する姿勢は他の模範である。
沖縄県立北部農林高等学校  教諭  あざま やすし 安座間 康  1－ア（学習指導）	地域資源を教材化し、特産品開発を目指すプロジェクト活動の指導を通して課題解決能力を身につけ、地域の活性化につなげることを指導目標に、これまで様々な教育活動を実践してきた。また、農業教育に起業の視点を取り入れ、調査・分析、課題発見、解決策を思考し、アイデアの出し方やまとめ方を学ぶための教材や授業の工夫に取り組んでいる。
沖縄県立陽明高等学校  教諭  しもじ まさき 下地 将生  1－カ（地域連携）	福祉科教員として、地域と連携した様々な教育実践を授業の中で取り組み、優れた実績をあげた。インクルーシブ教育の視点も取り入れた数々の実践で本校生徒の学びの有用性を体感させ、主体性と自己肯定感を育むとともに、文部科学省視学官を通じ、全国の福祉科教員にも度々紹介されるなど、本県教育の充実に貢献している。
沖縄県立首里東高等学校  教諭  ちな かつふみ 知名 勝史  1－イ（進路指導）	進路指導部主任として進路指導の充実に大きく貢献。進路を自分事として捉えることができるよう、キャリア教育の視点を踏まえた進路指導を推進し、実践している。具体的には、校内進学ガイダンス、進路（キャリア教育）講演会、学問分野別出前授業、小論文ガイダンスの実施など実践内容が偏らないよう工夫し、生徒の進路意識の醸成に尽力している。
沖縄県立知念高等学校  教諭  ずけやま りょうきく 瑞慶山 良作  1－エ（部活動指導）	令和3年度より高体連なぎなた専門部委員長を兼務する中、熱心かつ丁寧に男女なぎなた部の指導にあたり選手の育成に尽力している。令和4・5年度の全国高等学校なぎなた選抜大会男子個人試合優勝等、多くの大会で優勝を果たしており、その実績から令和5年度県高等学校体育連盟優秀指導者賞を受賞している。

優秀教職員部門（県立学校）

所属 職名 氏名 実践分野	主な功績等
沖縄県立首里高等学校  教諭  ぎま ともなり 儀間 朝宜  1－エ（部活動指導）	部活動で生物部の指導者として生徒の興味・関心をもとに高校生物の「見方・考え方」を働かせた実践的な指導を行い、科学的好奇心を刺激する取り組みを実践して、生徒の研究力向上に取り組んだ。また沖縄青少年科学作品展で指導した生徒が教育長賞や県知事賞を受賞し、自身も優秀指導者賞を二度受賞するなど多くの実績を挙げてきた。
沖縄県立美来工科高等学校  教諭  うちはら なおひこ 宇地原 尚彦  1－エ（部活動指導）	部活動指導はもとより、校務分掌においても重要な部署を歴任しており学校の中心的役割を果たしてきた。部活動実績としては県新人大会バスケット競技4連覇中、県高校総体バスケット競技3連覇中等、突出した実績を残している。部活動実績の新聞掲載により、生徒・職員の母校愛の醸成、団結力向上など、良い影響を学校にもたらしている。
沖縄県立具志川商業高等学校  教諭  しるま あきら 城間 亮  1－エ（部活動指導）	保健体育科の教諭として研鑽を積み、生徒指導主任および学年主任を歴任するなど校務を遂行してきた。部活動においては、赴任した学校において卓越した指導力を発揮しており、伊良部高校では男子が県高校総体において平成16・21年度優勝、新人体育大会では平成19・20年度と連続優勝するなど、離島地区の生徒へ夢や希望を与えた。
沖縄県立糸満高等学校  教諭  みやた まつお 宮田 松生  1－キ（国際交流等）	本県主催の「授業改善推進事業」に2年間携わり、英語教育の専門知識を生かした指導方法を行い、生徒の学力向上に大きく貢献。また県主催国際交流プログラムへの生徒の参加を積極的に促し、現任校では「海外雄飛プログラム」「おきなわ国際協力事業」でハワイ、カンボジアへの派遣生徒2名を輩出するなど、生徒の事前指導を積極的に行い、国際交流活動を推進した。
沖縄県立美里工業高等学校  教諭  おおしろ まさる 大城 勝  1－エ（部活動指導）	工業教育における電気・情報技術分野において優れた指導力を発揮し、日々、生徒の知識・技術の指導に尽力している。部活動においても優れた指導力を有しており、現任校では男子ソフトボール部が県総合体育大会3位入賞、新人戦準優勝、全九州高等学校春季大会に出場する等、顕著な実績を上げている。
沖縄県立中部農林高等支援学校  教諭  まきや よりこ 真喜屋 頼子  1－オ（特別支援教育）	障害者技能競技大会や障害者技能検定の指導を通して、生徒自身の働くことへの意識向上と技能力アップに真摯に向き合い、一般就労へ繋げている。昨年度は、生徒3人が第23回県障害者技能競技大会で金賞と銀賞を受賞し、ビルクリーニング競技で金賞を受賞した生徒は、沖縄県では初めて高校生の全国大会出場となる実績をあげている。

優秀教職員部門（県立学校）

所属 職名 氏名 実践分野	主な功績等
沖縄県立北谷高等学校  教諭  ひだか てるただ 日高 輝忠  1－ア（学習指導）	これまで進路指導主任、研究主任、学年主任を歴任し、生徒指導と研究活動等で力を発揮してきた。特に教科における指導力に優れ、沖縄県高等学校数学教育会委員長を務めるなど、数学教諭の中でもその能力や人物には定評がある。また、研究熱心で常にスキルアップに取り組んでおり、生徒の能力を最大限に引き出す教科指導と生徒支援を実践している。
沖縄県立宮古特別支援学校  教諭  よなぼる えりこ 與那原 江里子  1－ケ（他の模範）	特別支援教育に関する高い専門性を有しており、児童の障害の状態や特性等に応じ、充実した指導を行っている。地域の小学校との連携等にも意欲的で、校内外の関係者との調整や校内でコーディネーター、学部主事を担う等、保護者や同僚からの信頼も厚い。また、常に自己研鑽に努めており、校内のOJTにも積極的に関わるなど、学校全体の教育力向上に貢献している。
沖縄県立北谷高等学校  教諭  とけし きゆり 渡慶次 小百合  1－ケ（他の模範）	教師として常に学び続ける姿勢を持ち、自己研鑽に励んでいる。教科指導のみならず教育に係る諸課題にも強い関心を持ち、何事にも前向きかつ積極的に取り組む姿勢は他の職員の模範であり、職員の人材育成にも貢献している。学校課題に組織として対応するための中心的な役割を果たしており、学校の抱える課題について様々な視点から解決策を講じている。
沖縄県立球陽高等学校  教諭  こみね けんじ 小嶺 賢司  1－ク（学校運営改善）	各部主任として、校務が円滑に行われるように尽力してきた。先を見通した調整能力に加え事務処理能力が非常に高く、各種資料のペーパーレス化へ大きな役割を担っている。業務改善として様々なアイデアや仕掛けを創意工夫・実践し、他の職員を支援している。また、負担軽減のためにICTを活用し、職場の働きやすい雰囲気作りへも尽力している。

## 功労者部門（小学校）

所属 職名 氏名 実践分野	主な功績等
浦添市立沢岬小学校 教諭 うえしろ かおり 宇江城 香 2（功労者）	自身の研究経験を基盤として校内研究等で授業改善や評価の充実について研究を推進し、学力向上に貢献した。後輩教諭へも適切な助言や援助を行い、職員の資質向上にも貢献している。 教育活動への参画や校内研究の推進、後輩育成への前向きな姿勢は、学校全体に与える影響が大きく、全職員への模範となっている。
豊見城市立伊良波小学校 教諭 おおしろ あけみ 大城 明海 2（功労者）	学年主任及び初任者校内指導教諭として校務を遂行し、学校の機能強化に加え、きめ細かな教科指導を実践している。更に、36年勤務のキャリアを生かし、後輩育成にも尽力している。 次世代IT未来型教育の研究、島尻教育研究所にて国語科の研究を通して研鑽を積み、その成果は現任校における校内OJTに生かされている。
宮古島市立下地小学校 教諭 こんどう みえこ 近藤 美江子 2（功労者）	算数科の教育課程研究員として授業改善に努め、「空手道指導推進校」では公開授業者として、「県指定体育スポーツ推進校」では研究員として、児童の体力向上と地域のスポーツの文化の発展に貢献。常に目の前の児童に何が出来るか考え、家庭や地域を繋ぎ、学校の特性を活かした体験活動を取り入れた学級経営で、自己肯定感やコミュニケーション能力を高めている。

## 功労者部門（県立学校）

所属 職名 氏名 実践分野	主な功績等
沖縄県立那覇高等学校 事務長 あらかき ひろやす 新垣 裕康 2（功労者）	その卓越した組織運営能力と管理能力により、学校運営の円滑化と効率化に大きく貢献。学校及び教育行政に関する法的知識・経験ともに豊富で、高い職務遂行能力とリーダーシップは、学校事務の予算管理、運営及び心理的安全性にも貢献しており、令和5年度からは沖縄県県立学校事務長会会長に就任し、全県的視野に立って県立学校事務全体の発展に寄与している。
沖縄県立那覇西高等学校 事務長 かみじ たいさく 上地 大作 2（功労者）	18年間事務長として務め、これまで歴任した学校において、見事なリーダーシップを発揮し、学校長を支え、施設整備や予算面、学校の事務運営等で多大な貢献をしてきた。県主催の学校事務研修会の講師も複数回務め、ほかの学校事務職員に対しても指導助言する立場であり、沖縄県の事務職分野での貢献度も非常に高い。

功労者部門（県立学校）

所属 職名 氏名 実践分野	主な功績等
沖縄県立那覇高等学校  教諭  ともしり ともひこ 友利 敏彦  2（功労者）	35年以上にわたり高等学校の理科（生物）教諭として教鞭を執り、その献身的な教育姿勢と卓越した指導力で、生徒たちの生物学への関心と理解を深めることに大きく貢献している。また、本教諭は教育環境においても重要な存在で、協力的な姿勢とリーダーシップは、他の教職員にも良い影響を与えており、後輩への助言や指導は常に的確で、学校の発展にも寄与している。
沖縄県立陽明高等学校  教諭  めどるま みちよ 目取真 三千代  2（功労者）	県内初の中高一貫校「与勝緑が丘中学校」開設時の教務主任として同校発展の素地作りに大きく貢献した。現在は教育相談係と特別支援教育コーディネーターを兼務し、生徒の支援体制の構築に力を発揮している。他の職員からの信頼が厚く、課題を的確に捉えて管理職に進言したり、理路整然と提案する姿勢は他の模範である。
沖縄県立浦添高等学校  教諭  みやぎ みつえ 宮城 光江  2（功労者）	各勤務校において後輩教諭をはじめとする保健体育科教諭の授業力向上や体育的学校行事に中心となって取り組むなど、本県の高等学校保健体育教育に尽力してきた。また、本人の専門競技であるソフトテニス競技においては、高体連専門部役員を約30年にわたって務め、各種大会運営をはじめとする本県高校生の競技力向上や競技の普及に携わってきた。